

このままでは学校がもたない! 子どもたちと向き合いたい!

全国一斉統一行動 香川でも街頭宣伝



JR高松駅前で街頭宣伝する安藤副委員長

6月15日（土）、JR高松駅前で香川県労働組合総連合、香川県高等学校教職員組合、香川県教職員組合の3団体から11名が参加して街頭宣伝を行いました。

発行所
高松市田村町1033-3
TEL(087) 867-4797
FAX(087) 867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ
<http://kakyoso.com/>

毎日、夜遅くまで勤務しなければ仕事が終わらない、残業代が出ない「定額働き放題」と揶揄される学校現場の状況。育休や病休の先生の代替が見つからない「教育に穴が開く」状況を紹介しました。

そして、中教審の「審議のまとめ」は、教職員増については基礎定数を増やすのではなく加配増にとどめたこと、教職調整額の増額では長時間労働の歯止めにならないこと、メリハリある給与体系では上意下達の体制を強化することになるなどの問題

私たち、必要な仕事が時間内に終わらない状況を何とかして欲しいのです。まずは、業務の見直しです。そして、業務の見直しはしています。部活動もガイドラインを設けて、休養日を設定しています。また、事務作業を担う業務支援員の配置もあります。でも、授業の準備など日常の子どもとの対応などを直接子どもと関わることを効率化するには限界があります。教員の授業時間数に制限を設けることが必要です。そして、教職員の定数を改善し、教員を増やすことが必要です。

私たち、目の前の子どもたち一人一人を大切にしたいのです。子どもたちが抱える課題にしっかりと応えたいのです。そのためには、教職員にも子どもたちにもゆとりが必要です。

香川県は小中学校の全学年で35人学級が実現しています。全学級が実現するためには、教育条件をよくしてもらいたいのです。

多くの長時間労働・教員不足の解消、教員になりたい学生の増加にもつながらないことを指摘しました。

香川県は小中学校の全学年で35人学級が実現しています。全学級が実現するためには、教育条件をよくしてもらいたいのです。

先生を増やして。

授業持ちコマの上限を設定して。義務・高校標準法を改正して。

教育予算を増やして。

**少人数学級を推進して。
特別支援教育を充実して。
学費の無償化を前進して。**

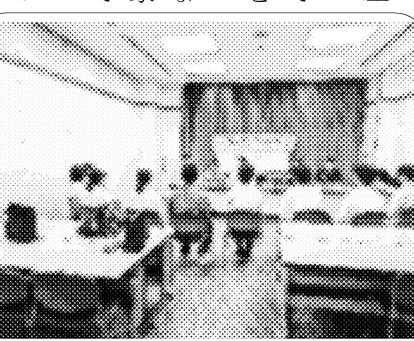
第2回パワーアップ学習会開催

原水爆禁止平和大行進に参加

香教組は6月8日（土）に2025年度教員採用試験対策の第2回パワーアップ学習会を開催しました。

この日はJR観音寺駅に向かって行進を開始しました。県内各地を行進し、30日まで続きました。

晴天の下、道の駅「とよはま」で愛媛県委員長など代表者が参加しました。



集団面接練習の様子

香教組は6月8日（土）に2025年度教員採用試験対策の第2回パワーアップ学習会を開催しました。採用試験のポイント、面接などへの臨み方の説明に引き続き、集団面接の練習を行いました。

これらのこと実現するためには教職員だけではなくともなっています。多くの人の声が必要ありません。多くの人の声が必要です。どうぞ、お配りしたチラシをご覧くださいと呼びかけました。

約1時間程度の活動でしたが、準備した全教チラシやティッシュの入った袋を約300セット配布することができました。



香川県内コーススタート前の様子

6月16日（日）、「2024年原水爆禁止国民大行進」香川県内コースがスタートしました。香教組からも石川県内を行進されて来た方たちとの引き継ぎ式を行いました。四国を通じ行進される山内さんのトランペット演奏に合わせて「青い空」を歌いました。

香川県内コースがスタートしました。香教組からも石川県内を行進されて来た方たちとの引き継ぎ式を行いました。四国を通じ行進される山内さんのトランペット演奏に合わせて「青い空」を歌いました。

「万博への参加を強制しないこと」を県教委へ申し入れ

香川県教育委員会
教育長 淀谷 圭三郎様
義務教育課長 荻原絢嗣様

2024年5月30日

香川県教職員組合
中央執行委員長 石川 謹章

児童・生徒に大阪・関西万博の参加を強制しないよう求める申し入れ

日頃、香川の教育の充実と教育条件の向上にご尽力いただいていることに敬意を表します。

さて、このたび香川県では、県教育委員会の事業として「大阪・関西万博」未来を担う子どもたちの体験学習支援事業を行うとしました。この事業は、学校活動として大阪・関西万博への参加を促進し、新しい価値観に触れる機会を創出することとし、来年度予算に、教育活動として万博に参加する児童・生徒に入場チケット料金全額と交通費の一部（実費1/2、上限1学級10万円）を補助するとし、対象となる児童・生徒10万人分に当たる4億1832万円を計上する内容となっています。県教育委員会は、この事業内容を各市町教委、学校に周知し、参加を確認しているところです。

大阪・関西万博については、建設費用が当初予算の2倍になり、パビリオンの建設も遅れ、全体像も明らかになっていません。また、かねてから指摘されているように会場に向かう交通手段は2つしかなく、大規模災害が起きたときの避難計画すら、まだ策定されていません。駐車場からパビリオン入り口まで1キロあり、混雑の中では徒歩で30分ばかりかかり、低学年の子どもには大きな負担になります。さらに、団体休憩所の収容能力、熱中症対策、昼食場所やトイレの確保などの多くの問題が指摘されています。医療的ケアが必要な児童・生徒への対応も示されていません。加えて、会場となる夢州は、もともとゴミや産業廃棄物の処分場であり、3月末には発生したメタンガスの爆発する事故も発生しました。

私たちはこのように、情報が圧倒的に少なく、安全対策も現場丸投げのような状況で、学校教育活動として子どもたちが大阪・関西万博に訪れることがふさわしいのかどうか、はなはだ疑問に感じています。児童・生徒・保護者の中にも不安を感じている人も少なからずいることでしょう。4億円を超える予算は、万博よりも他の教育条件整備に向けるべきだと考えます。

以上のことから、貴教育委員会に対し、次のことを強く要請します。

記

- 学校教育活動として大阪・関西万博を訪れるかどうかは、児童・生徒および保護者の意見を十分踏まえたうえで、各学校の判断を尊重し、県教育委員会として強制することのないようにすること。
- 県教育委員会の責任で、万博会場についての安全対策を把握し、事業への参加を表明した学校にきちんと情報提供すること。

以上



五者共闘の交渉の様子
(5月29日県人事委員会会議室)

五者共闘で県人事委員会と交渉

「教員不足」を解消し、必要な人員を確保できるよう、教員賃金を抜本的に改善する勧告を行うこと、などを要求しました。

異常な物価高騰に見合うとともに、地方公務員の生活を改善するため、賃金水準を大幅に引き上げる勧告を行うこと。全世界の水準を引き上げる内容とすること。

異常な物価高騰に見合うとともに、地方公務員の生活を改善するため、賃金水準を大幅に引き上げる勧告を行うこと。全世界の水準を引き上げる内容とすること。

異常な物価高騰に見合うとともに、地方公務員の生活を改善するため、賃金水準を大幅に引き上げる勧告を行うこと。全世界の水準を引き上げる内容とすること。

異常な物価高騰に見合うとともに、地方公務員の生活を改善するため、賃金水準を大幅に引き上げる勧告を行うこと。全世界の水準を引き上げる内容とすること。

異常な物価高騰に見合うとともに、地方公務員の生活を改善するため、賃金水準を大幅に引き上げる勧告を行うこと。全世界の水準を引き上げる内容とすること。

異常な物価高騰に見合うとともに、地方公務員の生活を改善するため、賃金水準を大幅に引き上げる勧告を行うこと。全世界の水準を引き上げる内容とすること。

異常な物価高騰に見合うとともに、地方公務員の生活を改善するため、賃金水準を大幅に引き上げる勧告を行うこと。全世界の水準を引き上げる内容とすること。

それがあります▼下見がいつで現場で可燃性ガスに引火して爆発事故も起きました。再発のおそれがある面がある中、万博への招待が適切なのか、県は責任を持つて見直すべきです。

の建設は遅れしており、全体像が見えません。加えて、会場への交通体制は貧弱で、避難計画も整っていません。また、会場予定地は土壤汚染が指摘されている上に、3月には会場工事の現場で可燃性ガスに引火して爆発事故も起きました。再発のお

な状況では、安全な校外学習を計画することはできません。保護者・子どもも不安を感じるでしょう。安全面でいくつかの懸念される面がある中、万博への招待が適切なのか、県は責任を持つて見直すべきです。

香川県は学校教育活動で児童・生徒に大阪・関西万博の参加を強制しないよう求めました。県教委は2025年度に、「大阪・関西万博」未来を担う子どもたちの体験学習支援授業として、県内の小・中学校、高校、特別支援学校、高等専門学校の児童生徒約10万人を対象に入場チケット料金の全額、交通費（実費の1/2、上限1学級10万円）を支援するというものでした。4億円余りを予算化しています。香教組はこの事業に対して、学校行事の確保などの問題が指摘されている、また3月には発生したメタンガスの爆発もないこと、県教委の責任で安全対策を把握し、参加を表明した学校に情報提供することを申し入れました。（申し入れ書の内容は左側）

5月30日、香教組は県教委に「児童・生徒に大阪・関西万博の参加を強制しないよう求めました。」申し入れを行いました。県教委は2025年度に、「大阪・関西万博」未来を担う子どもたちの体験学習支援授業として、県内の小・中学校、高校、特別支援学校、高等専門学校の児童生徒約10万人を対象に入場チケット料金の全額、交通費（実費の1/2、上限1学級10万円）を支援するというものでした。4億円余りを予算化しています。香教組はこの事業に対して、学校行事の確保などの問題が指摘されている、また3月には発生したメタンガスの爆発もないこと、県教委の責任で安全対策を把握し、参加を表明した学校に情報提供することを申し入れました。（申し入れ書の内容は左側）

は本来、各学校の自主的判断で行うものであること。また、万博会場は交通手段が2つしかない、駐車場からパビリオン入り口まで1キロある、団体休憩所の収容能力、熱中症対策、昼食場所やトイレの確保などの問題が指摘されている、また3月には発生したメタンガスの爆発もないこと、県教委の責任で安全対策を把握し、参加を表明した学校に情報提供することを申し入れました。（申し入れ書の内容は左側）



小黒板

香川県は学校教育活動で児童・生徒が「大阪・関西万博」に参加することを支援します。本来、各学校の自主的判断で行うものであること。また、万博会場は交通手段が2つしかない、駐車場からパビリオン入り口まで1キロある、団体休憩所の収容能力、熱中症対策、昼食場所やトイレの確保などの問題が指摘されている、また3月には発生したメタンガスの爆発もないこと、県教委の責任で安全対策を把握し、参加を表明した学校に情報提供することを申し入れました。（申し入れ書の内容は左側）